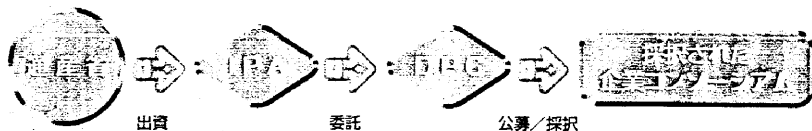


本システムは通産省殿 平成10年度  
「次世代GISモデル事業」で133応募案件の中から  
13採択案件の1つに採択されました。

- 本システムは、通産省殿の平成10年度補正予算に基づき、財団法人データベース振興センター殿の発注により、開発しているものです。
- 開発は、「住友金属工業株式会社」「住金制御エンジニアリング株式会社」「株式会社パスコ」が担当しています。



IPA: 情報処理産研事業協会  
OPC: 財団法人データベース振興センター

### 企業コンソーシアム

#### 住友金属工業株式会社

総合技術研究所 システム研究開発部

■業務内容: 鉄鋼技術、鋼管技術、薄板・厚板技術、形鋼・棒鋼線材技術、交通産機品技術、ステンレス技術、チタン技術、設備技術

〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町1番8号

TEL:06-6489-5767 / FAX:06-6401-9463 URL: <http://www.sumikin.co.jp>

#### 住友金属工業株式会社

営業本部 第二営業部

■業務内容: FA・CIM、業務系、制御系、計測・検査、商品販売

〒660-0861 兵庫県尼崎市御園町21番地 (MG尼崎駅前ビル7F)

TEL:06-6419-5060 / FAX:06-6419-5063 URL: <http://www.amiced.co.jp>

#### 住友金属工業株式会社

営業推進部

■業務内容: GIS事業、測量事業、建設コンサルタント事業

〒153-0043 東京都目黒区東山1-1-2 東山ビル

TEL:03-3715-1515 / FAX:03-3715-6800 URL: <http://www.zssec.co.jp>

共同会社

通産省殿 平成10年度「次世代GISモデル事業」採択

# ごみ削減戦略情報GIS

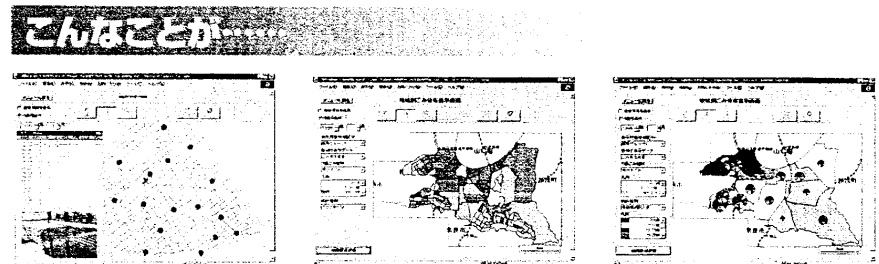
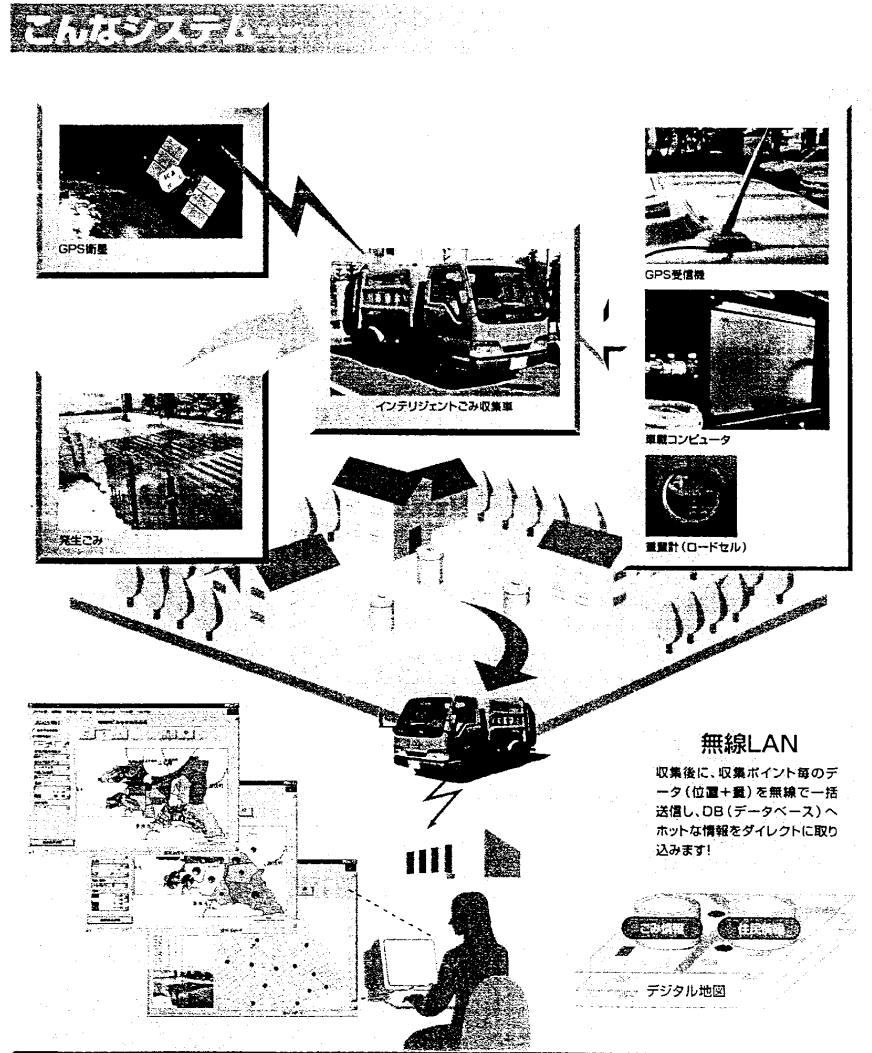
自治体ごみ問題対策支援システム



住友金属 スミセック 株式会社パスコ

# 複合先端技術でごみ削減戦略を総合的にサポート。

ロードセルやGPSを搭載したインテリジェントごみ収集車により、自動的にごみ収集データ(収集時間、位置、重量、種類及びルート等)を取得しデジタル地図上に展開します。さらに、これらのデータをGISを利用してごみ発生要因分析やシミュレーションを行う事により、きめ細かく効果的なごみ削減戦略をサポートします。



## 取得データを地図上に展開

ごみ収集車が取得した情報を、地図上に取り込み表示します

- 各ポイントごとの収集時間・位置・重量
- ごみ収集ルートの表示
- 収集ポイントの写真表示

## 地域別ごみ発生分布を把握

学校区などの地域別ごみ発生分布を、視覚的に分かりやすく色分け表示します

- 各地域ごとのごみ発生量
- 住民1人あたりのごみ発生量
- 各地域ごとの分別状況

## 地域特性とごみ発生の関連を解析

年齢別人口情報などを重ね合わせ表示することによって、地域特性を解析します

- 住民の年齢構成とごみ発生量の関係
- 家族構成とごみ発生量の関係

## 導入すると……

- マクロに捉えていたごみ発生の状態が、地域特性を伴ってミクロに見えてきます。
- 住民に対して視覚的に分かりやすい情報公開を行い、住民がごみ問題を身近なものと考えようになります。
- 定量的で詳細なごみ発生情報に基づき、きめ細かいごみ削減戦略への取組みや、効率的なごみ収集(収集区分、収集ルートの見直し支援)が可能となります。

## What's 複合先端技術

<b>GIS</b>	GIS(Geographic Information Systems/地理情報システム)とは、様々なデータをコンピュータ上の地図に貼り付けて、解析するためのシステム。本システムではGISを利用してごみ収集データを解析し、今まで見えなかった地域特性とごみ発生の関連を明らかにします。
<b>ロードセル</b>	ロードセルとは、重量によって生じた弾性体のひずみを電気量として検出する計量センサー。本システムではこのロードセルをごみ収集車に搭載し、ごみ収集地域毎のごみ発生重量を計量、デジタルデータとして取得します。
<b>GPS</b>	GPS(Global Positioning System/全地球測位システム)とは、地上の移動受信機が衛星との距離を計測し、現在位置を知る装置。本システムではこのGPSをごみ収集車に搭載し、ごみ計量データに位置情報を付加します。
<b>通信</b>	本システムでは車載コンピュータに登録されたごみ収集データを、リアルタイムに無線LANで電送し、サーバーのデータベースに蓄積します。また、インターネットとGISの複合技術を利用して、住民に対する視覚的に分かりやすい情報公開を実現します。